

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公開番号】特開2007-34807(P2007-34807A)  
 【公開日】平成19年2月8日(2007.2.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-005  
 【出願番号】特願2005-218913(P2005-218913)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/44 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/06 6 2 0 K

【手続補正書】  
 【提出日】平成20年6月25日(2008.6.25)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

業務の処理内容を定義した業務処理定義部品に従って業務処理を行う情報処理装置において、

前記業務処理定義部品を作成するための雛形であり業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報とを記憶する記憶手段と、

前記項目テンプレート情報により定義が可能な処理の中からいずれかの処理を選択する選択手段と、

前記業務スケルトン情報と前記項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成するユーザ定義作成手段と、

前記ユーザ定義と前記項目テンプレート情報とを関連付けして業務処理定義部品のソースコードを生成する際に前記選択手段における選択に基づいてソースコードを生成する業務処理定義部品生成手段と、

前記業務処理定義部品に従って業務処理を実行する業務処理実行手段と、  
を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記選択手段は、前記項目テンプレート情報のプロパティの設定により定義された処理のいずれかを選択する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

業務の処理内容を定義した業務処理定義部品に従って業務処理を行う情報処理装置において、

前記業務処理定義部品を作成するための雛形であり業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報とを記憶する記憶手段と、

前記業務スケルトン情報と前記項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成するユーザ定義作成手段と、

前記項目テンプレート情報により定義された項目が前記業務スケルトン情報で定義される業務処理における項目に含まれるか否かを判定する判定手段と、

前記ユーザ定義と前記項目テンプレート情報とを関連付けして業務処理定義部品のソースコードを生成する際に前記判定手段の判定結果に基づいてソースコードを生成する業務処理定義部品生成手段と、

前記業務処理定義部品に従って業務処理を実行する業務処理実行手段と、  
を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 4】

業務の処理内容を定義した業務処理定義部品に従って業務処理を行う情報処理装置において、

前記業務処理定義部品を作成するための雛形であり業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報、及びデータベースに関する情報の入出力処理を定義するデータベース処理テンプレート情報とを記憶する記憶手段と、

前記業務スケルトン情報と前記項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成するユーザ定義作成手段と、

前記項目テンプレート情報の項目と前記データベース処理テンプレート情報の項目とを関連付けして前記データベース処理テンプレート情報において定義された入出力処理を特定する入出力処理特定手段と、

前記ユーザ定義と前記項目テンプレート情報とを関連付けして業務処理定義部品のソースコードを生成する際に前記入出力処理特定手段で特定された入出力処理に基づいてソースコードを生成する業務処理定義部品生成手段と、

前記業務処理定義部品に従って業務処理を実行する業務処理実行手段と、  
を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 5】

業務の処理内容を定義した業務処理定義部品に従って業務処理を行う情報処理装置のコンピュータを、

前記業務処理定義部品を作成するための雛形であり業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報とを記憶する記憶手段、

前記項目テンプレート情報により定義が可能な処理の中からいずれかの処理を選択する選択手段、

前記業務スケルトン情報と前記項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成するユーザ定義作成手段、

前記ユーザ定義と前記項目テンプレート情報とを関連付けして業務処理定義部品のソースコードを生成する際に前記選択手段における選択に基づいてソースコードを生成する業務処理定義部品生成手段、

前記業務処理定義部品に従って業務処理を実行する業務処理実行手段、  
として機能させるためのプログラム。

【請求項 6】

業務の処理内容を定義した業務処理定義部品に従って業務処理を行う情報処理装置のコンピュータを、

前記業務処理定義部品を作成するための雛形であり業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報とを記憶する記憶手段、

前記業務スケルトン情報と前記項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成するユーザ定義作成手段、

前記項目テンプレート情報により定義された項目が前記業務スケルトン情報で定義される業務処理における項目に含まれるか否かを判定する判定手段、

前記ユーザ定義と前記項目テンプレート情報とを関連付けして業務処理定義部品のソースコードを生成する際に前記判定手段の判定結果に基づいてソースコードを生成する業務処理定義部品生成手段、

前記業務処理定義部品に従って業務処理を実行する業務処理実行手段、  
として機能させるためのプログラム。

【請求項 7】

業務の処理内容を定義した業務処理定義部品に従って業務処理を行う情報処理装置のコンピュータを、

前記業務処理定義部品を作成するための雛形であり業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報、及びデータベースに関する情報の入出力処理を定義するデータベース処理テンプレート情報とを記憶する記憶手段、

前記業務スケルトン情報と前記項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成するユーザ定義作成手段、

前記項目テンプレート情報の項目と前記データベース処理テンプレート情報の項目とを関連付けして前記データベース処理テンプレート情報において定義された入出力処理を特定する入出力処理特定手段、

前記ユーザ定義と前記項目テンプレート情報とを関連付けして業務処理定義部品のソースコードを生成する際に前記入出力処理特定手段で特定された入出力処理に基づいてソースコードを生成する業務処理定義部品生成手段、

前記業務処理定義部品に従って業務処理を実行する業務処理実行手段、  
として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明は、業務の処理内容を定義した業務処理定義部品に従って業務処理を行う情報処理装置において、前記業務処理定義部品を作成するための雛形であり業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報とを記憶する記憶手段と、前記項目テンプレート情報により定義が可能な処理の中からいずれかの処理を選択する選択手段と、前記業務スケルトン情報と前記項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成するユーザ定義作成手段と、前記ユーザ定義と前記項目テンプレート情報とを関連付けして業務処理定義部品のソースコードを生成する際に前記選択手段における選択に基づいてソースコードを生成する業務処理定義部品生成手段と、前記業務処理定義部品に従って業務処理を実行する業務処理実行手段と、  
を備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明において、前記選択手段は、前記項目テンプレート情報のプロパティの設定により定義された処理のいずれかを選択することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 0 】

請求項 3 に記載の発明は、業務の処理内容を定義した業務処理定義部品に従って業務処理を行う情報処理装置において、前記業務処理定義部品を作成するための雛形であり業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報とを記憶する記憶手段と、前記業務スケルトン情報と前記項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成するユーザ定義作成手段と、前記項目テンプレート情報により定義された項目が前記業務スケルトン情報で定義される業務処理における項目に含まれるか否かを判定する判定手段と、前記ユーザ定義と前記項目テンプレート情報とを関連付けして業務処理定義部品のソースコードを生成する際に前記判定手段の判定結果に基づいてソースコードを生成する業務処理定義部品生成手段と、前記業務処理定義部品に従って業務処理を実行する業務処理実行手段と、を備えたことを特徴とする。

## 【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 1

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 1 1 】

請求項 4 に記載の発明は、業務の処理内容を定義した業務処理定義部品に従って業務処理を行う情報処理装置において、前記業務処理定義部品を作成するための雛形であり業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報、及びデータベースに関する情報の入出力処理を定義するデータベース処理テンプレート情報とを記憶する記憶手段と、前記業務スケルトン情報と前記項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成するユーザ定義作成手段と、前記項目テンプレート情報の項目と前記データベース処理テンプレート情報の項目とを関連付けして前記データベース処理テンプレート情報において定義された入出力処理を特定する入出力処理特定手段と、前記ユーザ定義と前記項目テンプレート情報とを関連付けして業務処理定義部品のソースコードを生成する際に前記入出力処理特定手段で特定された入出力処理に基づいてソースコードを生成する業務処理定義部品生成手段と、前記業務処理定義部品に従って業務処理を実行する業務処理実行手段と、を備えたことを特徴とする。

## 【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 3

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 1 3 】

請求項 1、5 に記載の発明によれば、業務処理定義部品を作成するための雛形であり、業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の必要とする処理内容を定義する項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成し、ユーザ定義とデータベースに関する情報の入出力処理を定義するデータベース処理テンプレート情報とを関連付けて業務処理を行うための業務処理定義部品を生成する構成であるため、編集作業を行う時に項目に関する情報を一括して扱うことができ、ユーザの要求に合った業務処理における項目に対応した処理の内容を冗長なソースコードを取り除いて挿入できるので、きめ細やかな業務処理を行うための業務処理定義部品を効率よく作成することができる。

## 【 手 続 補 正 7 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 4

【 補 正 方 法 】 変 更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 1 4 】

請求項 3、6 に記載の発明によれば、業務処理定義部品を作成するための雛形であり、業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成し、項目テンプレート情報における項目が前記業務スケルトン情報で定義される業務処理における項目に含まれるか否かを判定し、その判定結果に基づいてユーザ定義の項目と項目テンプレート情報に定義された項目とを関連付けて業務処理を行うための業務処理定義部品を生成する構成であるため、編集作業を行う時に項目に関する情報を一括して扱うことができ、ユーザの要求に合った業務処理における項目に対応した処理の内容を冗長なソースコードを取り除いて挿入できるので、きめ細やかな業務処理を行うための業務処理定義部品を効率よく作成することができる。

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 1 5 】

請求項 4、7 に記載の発明によれば、業務処理定義部品を作成するための雛形であり、業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成し、項目テンプレート情報に定義された項目とデータベースに関する情報の入出力処理を定義するデータベース処理テンプレート情報の項目とを関連付けて業務処理を行うための業務処理定義部品を生成する構成であるため、編集作業を行う時に項目に関する情報を一括して扱うことができ、ユーザの要求に合った業務処理における項目に対応した処理の内容を冗長なソースコードを取り除いて挿入できるので、きめ細やかな業務処理を行うための業務処理定義部品を効率よく作成することができる。

## 【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 3 0 】

表示装置 1 3 は、LCD (Liquid Crystal Display) や CRT (Cathode Ray Tube) などのディスプレイであり、画面上に制御装置 1 1 からの画像信号に応じた画像、つまり、業務処理時における業務画面を表示する。通信装置 1 5 は、無線通信回路及びアンテナや、有線で通信を行うための通信インターフェースを備えた回路部であり、特に図示しない無線 / 有線 LAN、インターネットなどの通信ネットワークと接続し、当該通信ネットワークと接続する他の情報機器との間で制御装置 1 1 の指示に応じたデータの送受信を行う。印刷装置 1 6 は、電子写真方式やインクジェット方式などにより紙などの記録媒体に制御装置 1 1 からの指示に応じた画像を形成するプリンタである。